賃 貸 借 仕 様 書

1　品目および設置場所

品　　目	設置場所（住所等）
二酸化硫黄・浮遊粒子状物質自動測定記録計	仁井田測定局 （仁井田本町四丁目５－２０）

※品目は、分析部、記録計、収納ラック、付属品一式等のセットとする。

2　賃貸借期間　　平成２７年3月１日から平成３２年2月２９日まで
（６０か月）

3　設置期限　　平成２７年2月２８日

4　機器仕様　　別紙「機器仕様書」のとおり

5　設置仕様　　別紙「設置仕様書」によるほか、設置期限までに測定可能状態までの調整を行うこと。

6　提出書類等
(1) 納入仕様書
(2) 取扱説明書２部
(3) 交換部品一覧（部品番号付き）
(4) 設置時の試験成績書
(5) 機器設置整備前後の状況を示す写真

7　納入条件
(1) 設置に係る費用は、納入者の負担とすること。
(2) 納入者は、秋田市内に機器等の保守管理のできる技術者を有していること。
(3) 納入者は、機器の使用方法および点検方法を熟知し、消耗品等の定期交換部品の交換ができること。
(4) 納入者は、秋田市内に事業所を有し、不具合が発生した場合は迅速に対応すること。
(5) 賃貸借に当たっては、秋田市財務規則に定める事項を遵守すること。
(6) 賃貸借料の請求は、該当月分の賃貸借が完了した後に請求すること。
(7) 賃貸借期間中は、納入者の費用により動産総合保険に加入すること。
(8) 賃貸借期間満了後は、無償で秋田市に所有権移転を行うこと。

別紙

機 器 仕 様 書

1　機器名　　二酸化硫黄・浮遊粒子状物質自動測定記録計

(1) 分析部仕様

ア　硫黄酸化物自動測定記録計分析部

測 定 対 象　大気中の二酸化硫黄（SO_2）
測 定 方 法　紫外線蛍光法
測 定 範 囲　瞬時値および１時間平均値
　　0～0.05/0.1/0.2/0.5/1.0ppmの５レンジ程度の自動・手動切換式
所 用 電 源　AC100V　50Hz
自動校正機能　校正ガス発生器で自動校正ができること。
表　　示　測定値、出力レンジ、動作制御情報、アラーム
伝 送 出 力　DC0～1V（瞬時値および１時間平均値）
出　　力　本市テレメータ子局装置（グリーンブルー㈱REC-1_{21}）に接続してデータ送受信ができること。
接 点 出 力　レンジ信号、アラーム信号、調整中信号、校正中信号等
接 点 入 力　テレメータ故障、外部リセット、自動校正スタート等

イ　浮遊粒子状物質自動測定記録計分析部

測 定 対 象　大気中の浮遊粒子状物質(SPM)
測 定 原 理　ベータ線吸収法
測 定 範 囲　0～1/2/5 mg/　の３レンジ程度、自動切換
所 用 電 源　AC100V　50Hz
校 正 方 法　等価膜による静的校正
表　　示　測定値、出力レンジ、動作制御情報、アラーム、スパン係数、β線源使用可能指示値
伝 送 出 力　DC0～1V（１時間平均値）
出　　力　本市テレメータ子局装置（グリーンブルー㈱REC-1_{21}）に接続してデータ送受信ができること。
接 点 出 力　レンジ信号、アラーム信号、調整中信号等
接 点 入 力　テレメータ故障、外部リセット等

(2) 記録部仕様

記　録　計　ドットプリント式で、瞬時値、平均値が記録できること。
記　録　紙　折りたたみ式帯状記録紙であること。

(3) 校正ガス発生器仕様（調圧器付属）

希　釈　率　1/100または1/1000
希 釈 精 度　表示希釈率に対して±２％以内

(4) 付属品等

標準付属品一式（サンプリング管、標準ガスボンベ、レギュレータ、ボンベ架台等）
予備品等一式（予備品、１年点検時交換部品等）

(5) その他の事項

ア　JIS B 7952、JIS B 7954および「環境大気常時監視マニュアル第６版」に適合していること。

イ　収納ラックに分析部、記録計、校正ガス発生器を収納して設置すること。

設　置　仕　様　書

1　機器の設置に関しては、以下の定める事項のとおりとする。ただし、該当しない項目はこの限りでない。

2　調整確認事項

(1) 設置および配管・配線関係

ア　付属品・納入品リストの確認

イ　装置内プリント基板・コネクタの確認

ウ　サンプリングチューブ配管の確認

エ　電源電圧の確認

(2) 記録部関係

ア　ドライブケーブルの点検

イ　スケール位置の確認

ウ　機械的ゼロ点の確認

エ　打点タイミング・ゲインの確認

オ　ゼロ・スパンの確認

カ　直線性の確認

キ　記録紙送り速度の確認

ク　測定値記録状態の確認

(3) 分析部関係

ア　試料大気の漏れ確認

イ　試料大気流量の確認

ウ　空試験の実施

(4) 操作部関係

ア　バックアップバッテリ電圧の確認

イ　自動校正周期の設定（時計の設定含む）

ウ　自動レンジ切替動作の確認

エ　測定レンジの設定

オ　スパン校正の実施

カ　各キーによるプログラム動作の確認

(5) 総合性能・動作確認

ア　伝送出力の特性試験

イ　外部入出力信号の確認

ウ　テレメータ出力信号の確認

（測定値信号、計器調整信号、指示値異常信号、測定レンジ信号）

3　調整確認事項の制限

調整確認事項については、設置期限日の午前中までに終了すること。